

■■備えあれば憂いなし、です！■■

1日ずっと家に帰ることができない以上、準備を万端整えて行く必要があるのは当然だ。しかし、何から何まで持って行こうとすれば当然荷物は大きく重くなってしまふ。少しでも体力を温存したい参加者のにも、混雑を少しでも低減したい会場事情的にも、これはあまり望ましいことではない。

そもそも装備を用途別に分別し、それを目的に合わせて取捨選択して最適化するのが現在の装備運用の主流だ。コミケットでもその概念を活用して、持物を見なおしてみよう。
(これまで是一般/サークル/コスプレと参加者区分に合わせて装備を紹介してきたが、それを改め、会場での滞在時間と置かれる温度の面からの装備選択を推奨する)

■装備とは『どこに何をを入れるか』です。■

“コミケットに参加するならコレを持っていけ”という持物リストは当記事をはじめ多方面で記作成されている。しかし、実際そのリストの物品を集めて、ただ大きなカバンに詰め込んだとしたら、それは相当かさばり、かつ必要な時に必要な物が取り出しにくいものになってしまうだろう。

何を持っていかは、同時にどうやって持っていか、という問題でもある。実は荷物は、何でもかんでも1つにまとめれば良いというものではないのだ。

荷物を最小にまとめるコツは入れる物に対し最小限の容器(カバン)を用意することだ。

そしてコミケットの場合、戦利品である同人誌を納めるカバンに全ての荷物を納めるよりも、カバンを分けてそれぞれをできるだけコンパクトにまとめた方が、かえって荷物のボリュームを抑えられる。

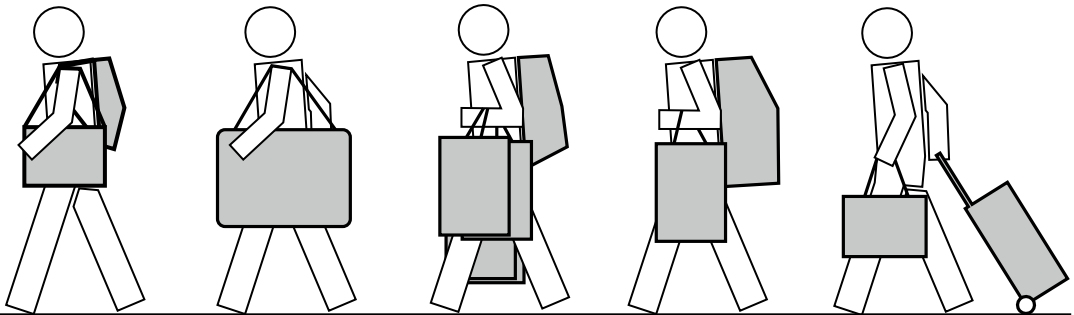
さらに、中身の重量を分散できて疲れにくい、貴重品を頻繁に中身を出し入れするカバンに入れられないことで落とし物のリスクも下げることができると、メリットは多い。

ビギナーはもちろん、ベテランのアナタも、これを機に荷物の分割を試してみしてほしい。

例えば全てをまとめて詰め込んだキャリーバッグは重くてかさばり、会場内の混雑の中や階段では運搬に苦労するし、手に入れた戦利品を収納するのも簡単ではないので、結局バッグを曳きながら腕に本を抱えたり別の紙袋を持つことになったりする。これでは会場内での行動としては無駄が多すぎる。

戦利品と頻繁に使う物は簡単に出し入れできる大きめのバッグに、それ以外の持物はできるだけコンパクトなバックパックに、そして貴重品は専用の小物入れに大切に収納するようにしてみよう。

大きなバッグも戦利品だけなら一回りコンパクトにでき、取り回しが向上する。背中に密着するバックパックなら中身の重さもあまり感じないし、多くの装備は常に使う物ではないので多少出し入れしなくても影響は小さい。



バックパック+バッグ

- 専有面積：小
- 体力負担：小

バッグ(大)

- 専有面積：小
- 体力負担：大

バックパック+紙袋

- 専有面積：中
- 体力負担：極大

バックパック(大)

- 専有面積：大
- 体力負担：中

キャリーバッグ+バッグ

- 専有面積：極大
- 体力負担：小